リーディングDXスクール事業　【GIGA×指導の工夫・改善】

喬木村立喬木第二小学校

【GIGA×指導の工夫・改善】　３，４年・算数　自律的な学習者を育成を目指した算数学習

＜考察＞

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊・・・・・・

・可視化された情報のどこに着目しているのか。

・本時の作戦（内容・学び方）の書き込み

・オンラインホワイトボード上に直接書き込まれたり、ノートの写真が貼られる様子

・デジタルドリル上の情報

・個々の児童生徒にどのように指導するのか（介入するタイミング等）

・本時の作戦の立て方が甘かったり、課題がからズレていた場合に個別に声掛けを実施（前時との違いを考えさせたり、自身が何を考えたいのか問い返す等）

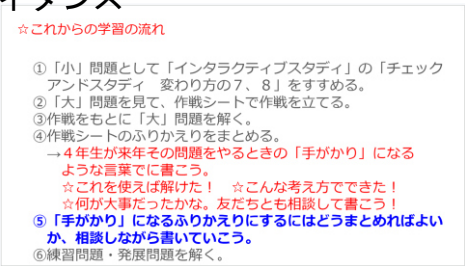
・特に多い場合には全体指導に切り替える

・オンラインホワイトボード上の書き込みを見て、友だちの考えを見るように促したりするが、基本的には子どもたちが自分で動けるように見守っている（友だちの書き込みをみて、必要に応じて実際に聞きに行く様子が多く見られるようになってきた）

・次時の指導の改善にどのように活かしたか。

・最後に次の課題を提示し、振り返りの中で次の時間の見通しを書くため、その内容をみて、次時の導入の展開を考えている。

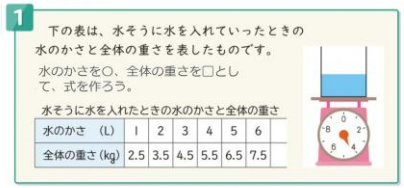
①ガイダンス


☆これからの学習の流れ

①「小」問題として「インタラクティブスタディ」の「チェックアンドスタディ　変わり方の７、８」をすすめる。
②「大」問題を見て、作戦シートで作戦を立てる。
③作戦をもとに「大」問題を解く。
④作戦シートのふりかえりをまとめる。
→４年生が来年その問題をやるときの「手がかり」になるような言葉でに書こう。
☆これを使えば解けた！　☆こんな考え方でできた！
☆何が大事だったかな。友だちとも相談して書こう！
⑤「手がかり」になるふりかえりにするにはどうまとめればよいか、相談しながら書いていこう。
⑥練習問題・発展問題を解く。

②本時の達成目標の問題

今回の「大」問題　作戦シート（ふりかえり）

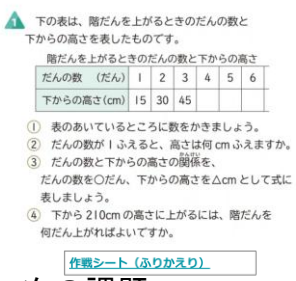

1　下の表は、水そうに水を入れていったときの水のかさと全体の重さを表したものです。
水のかさを○、全体の重さを□として、式を作ろう。

水そうに水を入れたときの水のかさと全体の重さ

水のかさ　(L)	1	2	3	4	5	6
全体の重さ (kg)	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5	7.5

⑤定着問題

練習問題


1　下の表は、階だんを上がるときのだんの数と下からの高さを表したものです。

階だんを上がるときのだんの数と下からの高さ

だんの数　(だん)	1	2	3	4	5	6
下からの高さ (cm)	15	30	45			

① 表のあいているところに数をかきましょう。
② だんの数が１ふえると、高さは何 cm ふえますか。
③ だんの数と下からの高さの関係を、だんの数を○だん、下からの高さを△cm として式に表しましょう。
④ 下から 210cm の高さに上がるには、階だんを何だん上がればよいですか。

作戦シート（ふりかえり）

⑥振り返り・次の課題

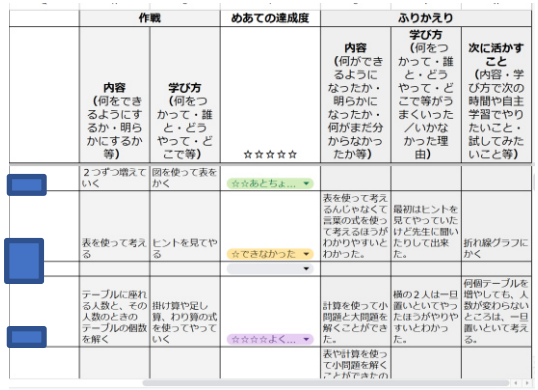
☆書くときにはみんなで（まだの人がいればできる人で）集まろう。
→・問題を解くために算数の内容で必要なことは入っているかな。
・来年の４年生が見てわかりやすいかな。
（解き方・考え方：１つじゃないかも）

☆相談したり、作ったものを見合って意見を言ったりしながら、よりよい「手がかり」になる振り返りを書こう。

④オンラインホワイトボード上で問題の進捗状況を共有

追究の方法もそれぞれ

③作戦（本時の目標）の設定
⑥振り返り



	作戦		めあての達成度	ふりかえり		
	内容（何をできるようにするか・明らかにするか等）	学び方（何をつかって・誰と・どうやって・どこで等）	☆☆☆☆☆	内容（何ができるようになったか・明らかになったか・何がまだ分からなかったか等）	学び方（何をつかって・誰と・どうやって・どこで等がうまくいった／いかなかった理由）	次に活かすこと（内容・学び方で次の時間や自主学習でやりたいこと・試してみたいこと等）
	2つずつ増えていく	図を使って表をかく	☆☆あとちょ…			
	表を使って考える	ヒントを見てやる	☆できなかった	表を使って考えるんじゃなくて言葉の式を使って考えるほうがわかりやすいとわかった。	最初はヒントを見てやっていたけど先生に聞いたりして出来た。	折れ線グラフにかく
	テーブルに座れる人数と、その人数のときのテーブルの個数を解く	掛け算や足し算、わり算の式を使ってやっていく	☆☆☆☆よく…	計算を使って小問題と大問題を解くことができた。	横の２人は一日置いといてやったほうがやりやすいとわかった。	何個テーブルを増やしても、人数が変わらないところは、一日置いといて考える。
				表や計算を使って小問題を解くことができた。		